

平成26年度

公共事業再評価（林道事業）

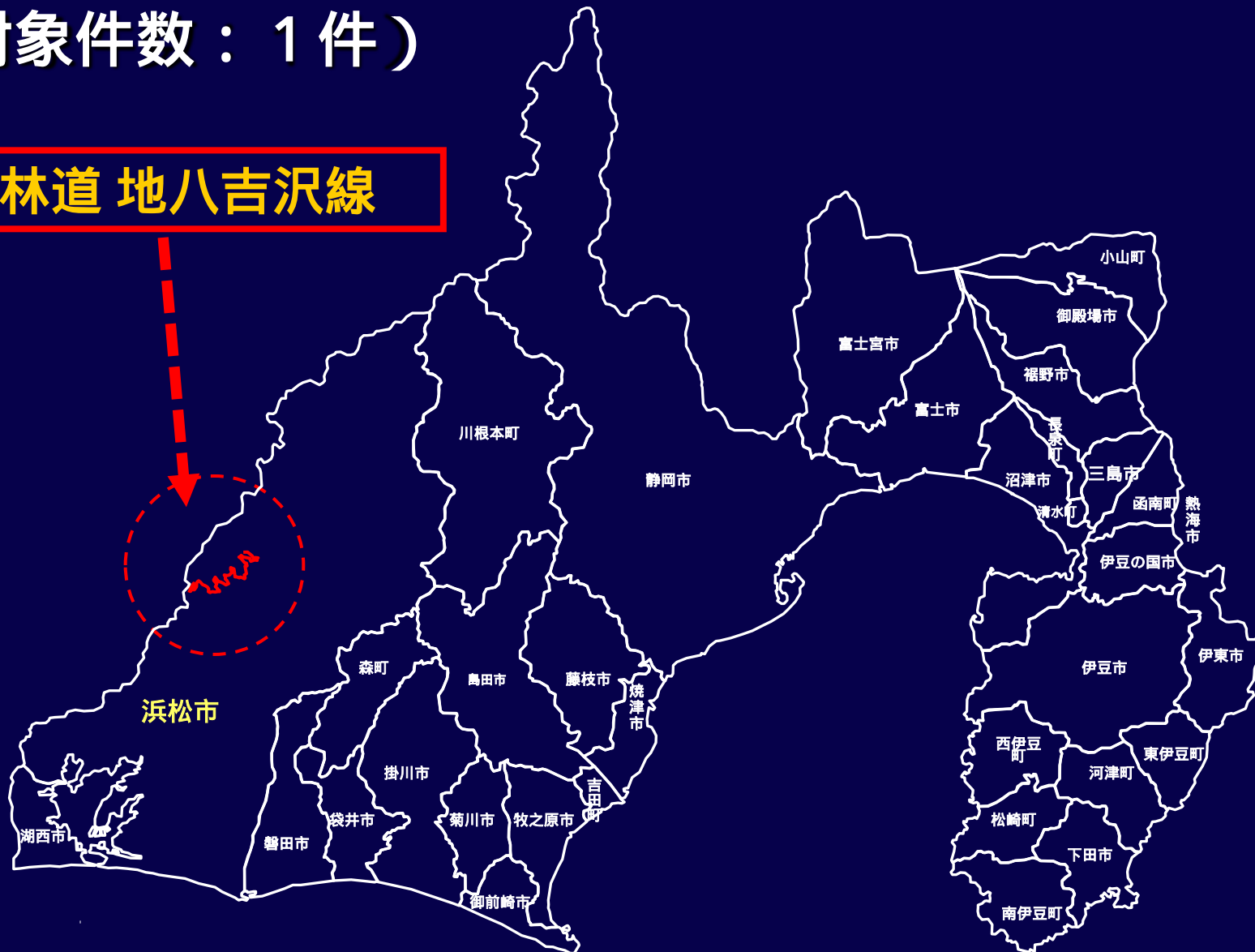
林道 地八吉沢線

交通基盤部 森林局 森林整備課

# 【評価対象箇所】

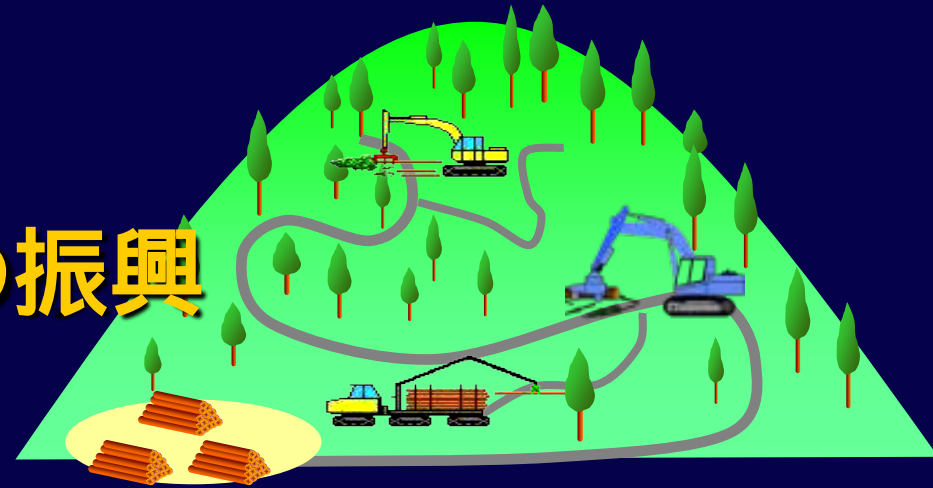
(対象件数：1件)

林道 地八吉沢線



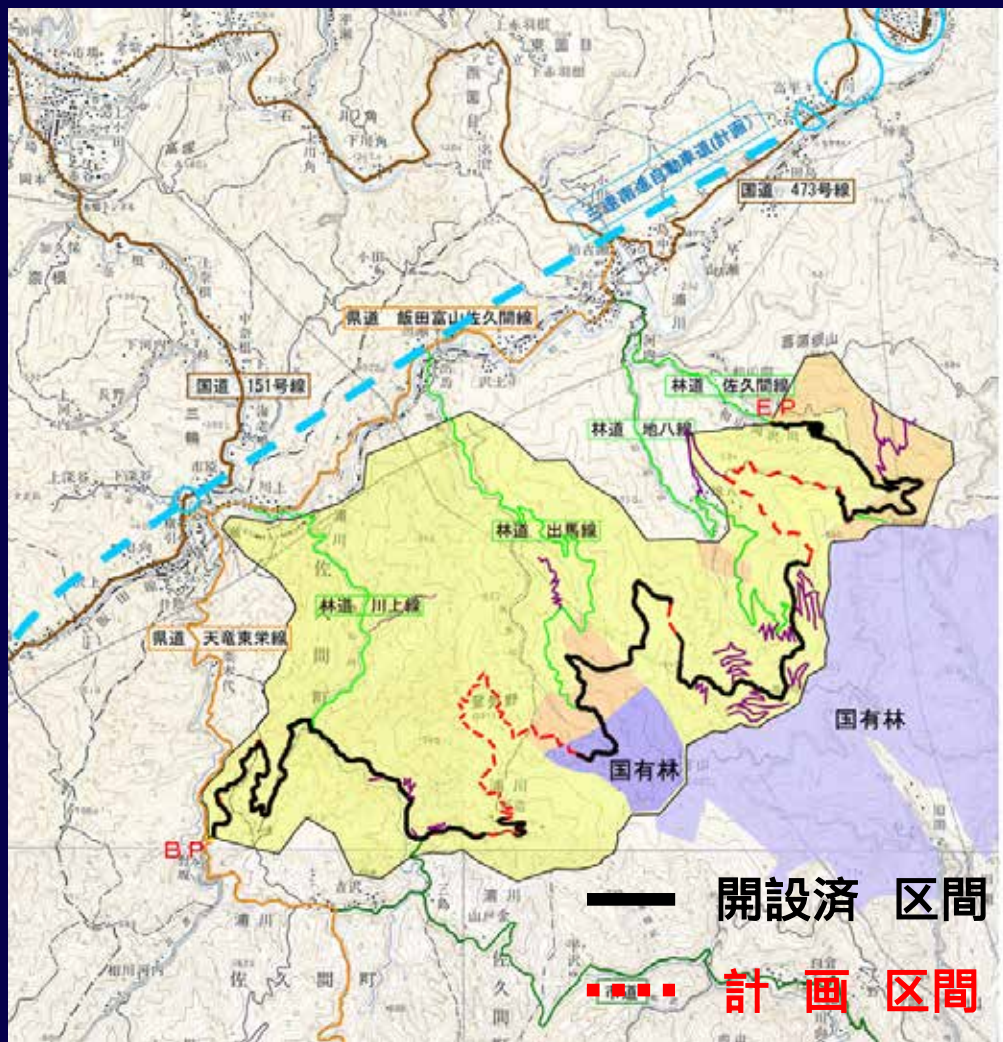
# 【事業目的】

- ① 森林整備の促進
- ② 林業・木材産業の振興
- ③ 山村の活性化



林道沿線での木材生産

# 【事業概要】



計画延長：22,400m  
全幅員：4.0m  
受益区域：2,176ha  
総事業費：4,500百万円  
計画期間：H6～H35



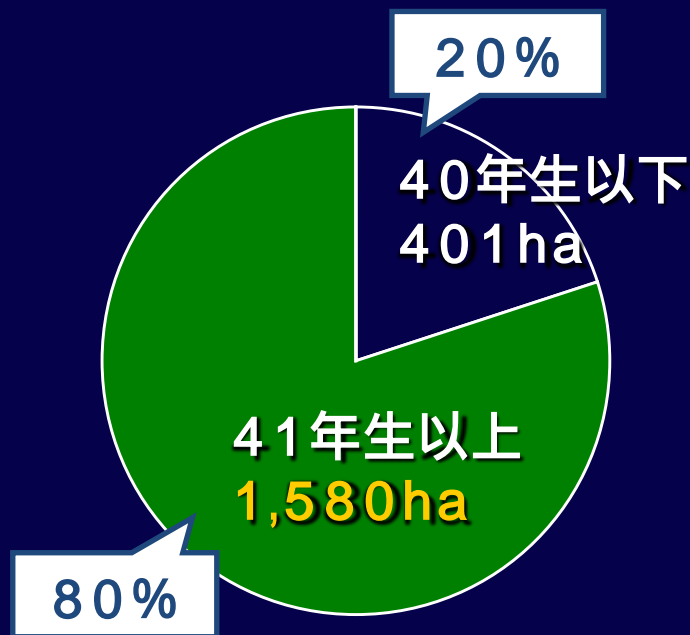
完成延長：13,207m  
(H26末見込み)

# 【事業の必要性】

## ● 森林資源の状況

受益区域面積：2,176ha

➡ スギ・ヒノキ林：1,981ha (91%)



# ● 林道沿線での森林整備状況

## 【受益区域内の作業道整備実績】

L= 7,000m

## 【受益区域内における森林整備実績】

H10～H24のべ面積

区分	再造林	保育	間伐	主伐	計
面積 (ha)	36.4	185.0	375.4	29.7	<b>626.5</b>

木材生産量15,456m<sup>3</sup>

工事完成区間は逐次供用し森林整備に活用



高性能林業機械による木材生産

# 【事業の進捗状況】

急峻な地形や脆弱な地質に伴う開設単価の高騰により進捗に遅れが生じている。 進捗率 59% ※H26末見込



事業費の増・事業期間の延長（視点2）

## 【事業計画の変更】

	計画期間	全体事業費（百万円）
変更前（前回）	H6～H30	3,600
変更計画	H6～H35	4,500

# 【コスト縮減の取組】視点3

## ①地形に沿った路線線形の設定

- ・掘削土量・切土法面の縮減を図る

## ②構造物の見直し



補強土壁工の採用



鋼製L型擁壁工の採用



# 【コスト縮減の取組】視点3

## ③残土経費の節減



# 【事業の効果等】

○総費用（C） 54.1億円

○総便益（B） 73.7億円

木材生産等便益	44.9億円
森林整備経費縮減等便益	28.8億円
計	73.7億円

費用対効果分析（B/C） = 1.36

# 【関係者の意見】

聴取した意見の内容	県の考え方
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 林道は森林の適正な管理だけでなく、災害時の迂回路などにも活用できるため、早期完成を要望する。</li><li>・ 林道から作業道を設置して、高性能林業機械を導入することで、木材生産の低コスト化を図りたい。</li><li>・ 林道に木材生産のための作業ポイントを設置してほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 早期完成を目指して、引き続き事業を推進する。</li><li>・ 森林整備に活用できる支線・作業道等の取付けや作業ポイントの設置に配慮した設計・施工を行い、より利用しやすい林道とする。</li></ul>

平成26年3月聴取

## 【今後の見込み】

- ・引続きコスト縮減を図りつつ、事業費を増額するとともに平成35年度を完成目標として事業を進める。
- ・本路線の整備に当たっては、林道管理者である市と連携、協力しながら、今後も事業を継続していく。

## 【対応方針案】

- ・供用区間を活用した林業生産活動が活発化しており、事業効果が認められる。
- ・本路線に対する地元の期待、要望が依然として強い。

★事業を継続するとともに、供用区間の一層の活用を図る